

創刊 40 周年！

月刊『ENGLISH JOURNAL』2011年3月号

特集 目指すべき「国際派英語」へのヒントを探る、「ノン・ネイティブの英語に挑戦！」

— 2011年2月5日(土)発売 —

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照麿)より、CD 付き英語学習月刊誌『ENGLISH JOURNAL (イングリッシュ・ジャーナル)』2011年3月号のご案内を申し上げます。

グローバル化対応には、ネイティブのきれいな英語だけじゃダメ！

時代は「国際派英語」へ

▼特集:～あなたの耳を世界仕様に～ ノン・ネイティブの英語に挑戦！

ビジネスや旅行などで、ノン・ネイティブ(非英語圏の人)と英語で会話することは意外に多いもの。ノン・ネイティブ同士の気安さから、コミュニケーションが取りやすいこともあれば、相手の英語がまったくわからない、なんてこともあるでしょう。この特集では、さまざまな国の人の英語を聞き、ノンネイティブであるわれわれ日本人が、相手に聞き取ってもらいやすい英語を話すためには何に気を付ければいいのか、目指すべき「国際派英語」へのヒントを探ります。



＜表紙の人:マイケル・ダグラス＞

【価格】1,400円(税込 1,470円)

* CD1枚付き

【サイズ】B5判 【雑誌コード】01625-03

『ENGLISH JOURNAL』(EJ) 創刊 40 周年記念特設サイトを オープン！

柴田元幸先生、安河内哲也先生などから
のお祝いコメント掲載

<http://www.alc.co.jp/eng/ej40/>

2011年4月号でEJは創刊40周年を迎えます。感謝の気持ちを込め、特設サイトを展開中。インタビュー記事から豪華賞品が当たるクイズまで、充実のラインナップをお楽しみいただけます。

▼ The Voice of EJ (インタビューのスク립ト & CD 収録音声)

1◇マイケル・ダグラス(俳優)&オリバー・ストーン(映画監督)

1980年代のマナーゲームをリアルに描いた映画『ウォール街』は、伝説的な作品になりました。それから23年たって制作された続編『ウォール・ストリート』。この作品で、俳優のマイケル・ダグラスは強欲な投資家ゴードン・ゲッコーを再び演じ、オリバー・ストーンは前作に続きメガホンを取りました。二人が、映画制作の背景、作品の舞台となったリーマンショック前後の金融業界、そしてプライベートについて語ります。

2◇エリザベス・ギルバート(作家)

昨年公開された、ジュリア・ロバーツ主演の話題作『食べて、祈って、恋をして』の原作者、エリザベス・ギルバート氏。自分探しの旅をつづった本作が映画化され、さらにベストセラーになった、その驚きに満ちた経緯について語ります。自分の役を映画で演じることになったジュリア・ロバーツに初対面した時のエピソードは……必聴です。

3◇アフターブ・セット(元駐日インド大使)

アフターブ・セット氏は、2000年から3年間にわたり、駐日インド大使を務めた後、現在はグローバル・インディアン・インターナショナルスクール東京の理事長として、国際教育に携わる知日派です。セット氏に、中国が急成長する現代に英語を学ぶ意義や、真に人間的なきずなを結ぶために必要なコミュニケーション能力について聞きました。

※上記インタビューは英文スク립ト、日本語訳、語注付き。本編の前後に、理解を深めるクイズが収録されています。

◆連載

Media Voices(NY1、BBC、ディスカバリーチャンネル)／英語で読むものの賛歌——『求めない』／リスニング特訓道場／これで合格！英検準1級／話す力・書く力を測ってみよう！TOEIC(R)スピーキングテスト／ライティングテスト受験マニュアル ほか

見本誌のご請求、本リリースについてのお問合せは下記までご連絡ください

株式会社アルク 広報部 (担当:河合、池田)

電話:03-3323-3521 e-mail: ko-ho@alc.co.jp